

日立市行財政改革大綱（第9次計画）素案に対するパブリックコメント（市民意見）  
の実施結果について

1 目的

行財政改革大綱（第9次計画）の策定に当たり、市民への説明責任を果たすとともに、市民の市政への参画の促進を図り、大綱策定過程における透明性の向上を図る。

2 意見の募集期間

令和4年12月9日（金）～ 令和4年12月23日（金）

3 募集方法

- (1) 行政マネジメント課、各支所・交流センター・図書館に行財政改革大綱（第9次計画）素案を備え付け、市民からの意見を募集
- (2) 市ホームページに募集記事を掲載

4 実施結果

提出意見 3件（1人）

5 意見の概要等

番号	計画該当事項	寄せられた意見の概要	市の考え方	計画案への反映内容
1	No.29 公共施設マネジメントの推進（継続） 【P19】	<p>【主な取組②公共施設マネジメント計画の推進】 公共施設を長寿命化させるためには、環境保全性や安全性が極めて重要であると考えます。</p> <p>日立市行財政改革大綱のP16（ウ）脱炭素に向けた取組の推進（4項目）No.18 脱炭素化の推進や、P17No.21 ゼロカーボンZ00の検討にも記載がございますが、公共施設マネジメントの推進においても2050年の脱炭素社会推進と連携した施設整備の検討をお願いいたします。</p>	<p>脱炭素社会に向けた取組として、温室効果ガス及び電気量の削減を図るため、令和3年度に108の公共施設において照明設備のLED化を実施しました。</p> <p>公共施設マネジメント計画には、御意見の趣旨が含まれており、今後は、公共施設等に、省エネ効果の高い設備機器や太陽光発電設備等の再生可能エネルギーを導入するなど、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進してまいります。</p>	無

番号	計画該当事項	寄せられた意見の概要	市の考え方	計画案への反映内容
2	No.33 市営住宅の管理戸数の最適化（継続） 【P20】	<p>【主な取組②大規模改修等による居住環境の改善】</p> <p>入浴中の事故としてヒートショックによる重篤事故を防止するためには、冬季における住居内の温度を適切に保ち温度差を低減させる、いわゆる「温度のバリアフリー化」がもっとも効果的です。</p> <p>窓の断熱改修等に加え、水周り部分を中心とした暖房機器の設置など住環境の改善に向けた改修工事も重要であると考えます。</p>	<p>貴重な御意見・御提言として、今後、市営住宅の長寿命化を図る中で、参考とさせていただきます。</p>	無
3	No.38 学校再編の推進（継続） 【P21】	<p>児童生徒の学習環境維持とともに、防災機能強化・分散型エネルギー構築の観点から、避難所ともなる市立小中学校の体育館等へ災害発生を考慮した電源自立型・停電対応型 GHP 等の導入促進といった検討をお願いします。</p> <p>※ GHP（ガスヒートポンプ）： ガスエンジンで稼働する冷暖房空調のこと。</p>	<p>小・中学校の体育館は、児童生徒の教育・生活の場のほか、避難所としての役割を担っています。</p> <p>停電対応型の空調設備については、市内2か所の小中学校体育館の改築に合わせてモデル的に設置し、冷暖房の効果を確認していることから、今後は改築に合わせた設置のほか、既設体育館への設置について、財源の確保や施設の老朽化・断熱性など、構造上の課題等を整理し、計画的な整備について検討を進めてまいります。</p>	無

以上